

豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.3)

豊田市 議員団が北九州施設を視察

6月21日(月)、豊田市議会 環境福祉委員会(清水俊雅委員長 始め10名)が、試運転を開始した日本環境安全事業株式会社(JESCO)の北九州PCB廃棄物処理施設に来所され、処理施設の状況や中央監視室での安全管理体制を視察されました。

その際、「種々なトランスに対応できるのか」、「処理後に排出される廃棄物はどのようなものか」等について熱心に質問されました。北九州施設は1期施設が12月に操業を始める予定です。

豊田施設はこの北九州1期施設とほぼ同じ処理方式であり、同様の安全対策を実施していきます。



議員団の視察状況



北九州施設の外観



北九州施設と豊田施設の比較

		北九州施設(1期)	豊田施設	
処理対象物	(1)種類	高圧トランス/コンデンサ等	高圧トランス/コンデンサ等+廃PCB	
	(2)処理対象物量	約4,000トン(1期+2期)	約3,800トン	
	(3)対象地区	西日本17県	東海4県	
	(4)操業開始日	2004年12月	2005年9月	
処理方式	(1)PCB無害化処理方式	脱塩素化分解方式金属Na分散体法 SD法 0.5 t / 日	脱塩素化分解方式金属Na分散油法 OSD法 1.6 t / 日	
	(2)洗浄・除染 処理	容器等非含浸物	真空超音波洗浄	真空超音波洗浄
		紙木等含浸物	真空超音波洗浄+高温真空加熱分離	攪拌洗浄+低温加熱分離

大型トランス等に係る現場解体作業について(報告書)

日本環境安全事業(株)のPCB廃棄物処理事業において処理すべきPCB廃棄物中には、サイズが大きすぎたり重量が重すぎたりして、そのままでは保管場所から運び出すことがが困難な大型のトランス等が存在します。

このため、これらの大型トランス等を保管現場から処理施設に持ち込むまでの環境リスクを最小にするため、大型トランスの現場解体作業の具体的な手順や環境保全の考え方について、4月23日のPCB廃棄物処理事業検討委員会(委員長：永田勝也早大教授)にて検討・審議され、その結果を報告書にとりまとめ、この程公表致しました。



工事安全大会を実施

全国安全週間スローガン

「危険を見つけて取り組む改善 トップの決意とみんなの実行」

第77回全国安全週間の行事として豊田作業所では7月1日に安全大会を開催しました。全国安全週間は、「自主的な労働災害防止活動を推進し、安全意識の高揚と安全活動の定着」を目的として実施されています。

JESCO豊田事業所長からは、日々の安全管理が良質な施設づくりにつながることをお話しし、工事作業者全員がくれぐれも安全作業に徹することを御願いました。

また、豊田作業所職長会より安全の決意表明が発表され、工事関係者一同、安全作業に専念し工事期間中の無事故無災害の達成を決意しました。



工事の状況



杭工事が6月に完了し、建物の基礎工事が本格的に始まりました。杭が設置された部分から掘削を始めており、鉄骨用アンカーボルトのセット、鉄筋型枠を組立て、コンクリートを打ち込みます。



今月の工事予定

7月初旬～ 建物本体掘削及び基礎鉄筋・型枠・コンクリート工事

7月下旬～ 非常用発電機用オイルタンク及び雨水調整槽の掘削・配筋・型枠工事

連絡先

発注者 日本環境安全事業株式会社(JESCO)
(連絡先) 豊田事業所 0565-37-7226

施工者 クボタ神鋼環境(豊田)異工種建設工事共同企業体
代表者 株式会社クボタ
構成員 株式会社神鋼環境ソリューション
(連絡先) 豊田作業所 0565-71-5722

施工者から一言

6月度に基礎杭(PHC杭 488本)工事を完了し、建物本体の掘削及び基礎工事に着手致しました。6月は梅雨の時期であり工程への影響が心配されましたが、順調に工事は進捗しています。

7月度は全国安全週間本週間が実施され、当作業所でも日々の安全活動を通じて、事故災害の防止に努めています。工事も8月のプラント機器搬入に向け「安全は全てに優先する」のスローガンを掲げ、安全作業を進めてまいりますのでご協力お願いします。ご安全に！